

😊絵本読み聞かせ通信😊

【赤ちゃんから幼児向け】

♣保護者の皆様へ♣

第3号（令和5年12月発行）芦別市立図書館

♣色々な体験をしよう♣

小さな子どもは、何もかもが初めて体験することばかり。じっと見つめたり触ってみたい、日々色々な経験をして成長しています。子どもだから体験できる事や子どもの時にしか感じられない気持ちなどをたくさん経験させてあげたいと思いませんか？

小さな子どもにおすすめの本は、身近にある物や、実体験できることが、子どもの目線で描かれた本です。体験したことを本で見ることで、より理解することができます。子どもの反応を見ながら読むと、子どもの成長がわかります。



「楽しい読み聞かせのコツ」

★ 絵本に興味を示したら読み時 ★

いつから本を読んだらいいのか悩みますが絵本を見たがったり、読んだ時に喜んだら見せてあげてください。絵本は絵を見るだけで、内容がわかるようにできています。はじめは、読んでいる人の口元を見ます。同じページで同じことを話すと、本のシステムがわかるようになります。繰り返し同じことをすることで、色々な事を覚えているのです。

★ 1音1音はつきりと ★

読み聞かせのポイントは、1音1音はつきりと読むことです。言葉を覚えるには、ゆっくりと繰り返し聞くことが大事です。小さな子ほど、ゆっくりと読んでください。上手に読む必要はなく、絵を見ながらお話するように読むのが楽しむコツです。お父さんも参加してみてくださいね。



★ 読書記録をつけよう ★

子どもが読んだ本の記録を残しましょう！子育てや成長の記録になりますよ。図書館で借りた本は、書名を書いたシールを印刷することができます。もう一度見たい本を調べたり、同じ本をまた借りてしまうことも防げます。「よんでリスト」に貼ると簡単に記録できます。おもしろさの評価を☆のマークでつけることもできます。



★ 繰り返しは楽しい遊び ★

小さな子ども向けの本は、どのページも、同じ動作や言葉の繰り返しというのが多くあります。繰り返しはリズムがあって、楽しい遊びです。どこから読んでもいいし、好きなページを繰り返し読んでもいい。子どもに合わせて読んであげてください。

かわいいね



「あかちゃん1・2・3」

作・絵：しみずみちを
出版社：ほるぷ出版

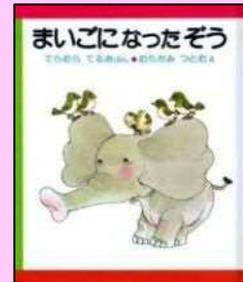
タッチしてあそぼう



「ピーちゃんとナッツくん」

作・絵：はらしまみ
出版社：ポプラ社

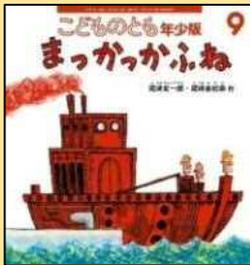
おかあさん どこ？



「まいごになったぞう」

作：てらむらてるお
絵：むらかみつとむ
出版社：偕成社

はっけーん！



「まっかっかふね」

作・絵：尾崎玄一郎
尾崎由紀奈
出版社：福音館書店

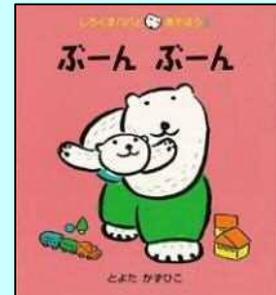
みんなでドライブ



「のせてのせて」

作：まつたにみよこ
絵：東光寺啓
出版社：童心社

おとうさんだいすき



「ぶーんぶーん」

作・絵：とよたかずひこ
出版社：岩崎書店

いたずらしても大丈夫

赤ちゃんは、なんでも口に入れようとします。心配して何も持たせないのではなく、なめても安心な物を置いてみませんか？赤ちゃんは何でも興味津々。いたずらした分だけ成長します。厚紙でできているボードブックは、とっても丈夫です。仕掛け絵本も多いので、指先を使って遊ぶのも楽しいですよ。

くり返しがたのしい

くり返しの言葉で遊びましょう！何度も遊ぶうちに真似をするようになります。「〇〇ちゃん」「はーい」お返事ができるようになったら手もあげて…。かわいいですね。

おすすめのボードブック

- いいおかお (どいかや)
フェルトを使った絵からやさしさが伝わる絵本
- たべたのだーれだ？ (たむらしげる)
かじった穴から体が見える
- わん？かお！ (ひらぎみつえ)
表情が変わるしかけ付き
- へんしん！おばけちゃん (ひらぎみつえ)
指を使ってあそぼう！
- ばいばい (まついのりこ)
「こんにちは」「ばいばい」のくりかえしが楽しい



もういっかい



「だいきぎゅつぎゅつ」
作：フィリス・ゲイシャイトー
／ミム・グリーン
絵：デイヴィット・ウォーカー
出版社：岩崎書店

できるかな



「パンダ
オリンピックたいそう」
作・絵：いりやまさとし
出版社：講談社

しゅっしゅっしゅっ



「はみがきさん」
作・絵：せなけいこ
出版社：ポプラ社

はやくたべたい！



「しろくまちゃんの
ほっとけき」
作・絵：わかやまけん
出版社：こぐま社

ぼかぼかあったかーい



「おめでとうのおふろやさん」
作・絵：とよたかずひこ
出版社：ひさかたチャイルド

すごいすごい



「はけたよはけたよ」
作：かんざわとしこ
絵：にしまさきやこ
出版社：偕成社

年齢に合った本

絵本は子どもから大人まで楽しめる本。でも、一番喜ばれる(適した)年齢があります。3～4歳は日々成長していて、色々な事に興味を示します。子どもの知りたいに合わせた、少しかんたんな本の方が、楽しく読めておすすめです。

絵本の絵はとっても正確

絵本に描かれている動物は、図鑑のように詳細で、特徴が正確に描かれています。動物のおっぱいは出生数と同数で、ゾウは前足、キリンは後足の位置にあります。目は顔の側面にあり、草食動物は横長の瞳で視界が広く、後方まで見えるようになっています。外敵から身を守るのに適しているのがわかります。

当てっこが楽しいおすすめ本

- ぼくなにをたべてたかわかる？
(みやにしたつや)
ヒントは食べる音と残った皮
- ぴんぽーん (山岡ひかる)
ここはだれのおうちかな？
- ふゆといえぼ… (新井洋行)
お話がつながる連想ゲーム
- ニヤーンといったのはだーれ
(ウラジミール・ステーエフ)
みつげられるかな？
- ぼく、いつてくる！
(マチュー・モデ)
ことりのぼうやがむかった先は？



どのパンがたべたい？

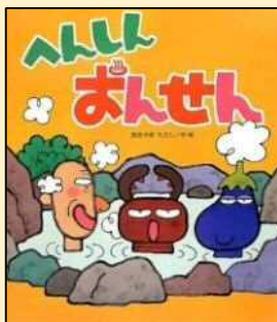


「からすのパンやさん」

作・絵：加古里子

出版社：偕成社

おもしろーい



「へんしんおんせん」

作・絵：あきやまだし

出版社：金の星社

おとうさんだいすき

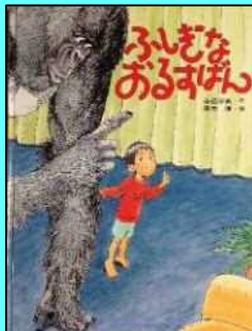


「おまいうまそうだな」

作・絵：みやにしたつや

出版社：ポプラ社

しりとりしよう！

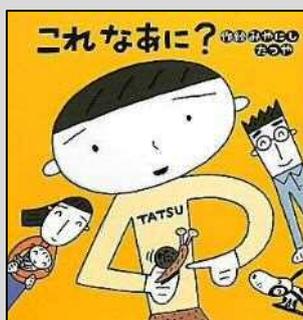


「ふしぎなおるすばん」

作：斉藤栄美・絵：岡本順

出版社：ポプラ社

いろいろなよびかた

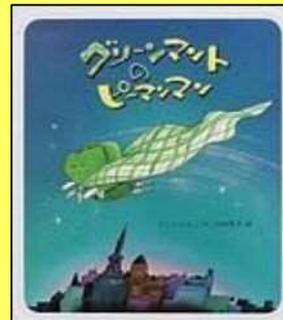


「これなあに？」

作・絵：みやにしたつや

出版社：すずき出版

ピーマンマンはすごい！



「グリーンマントのピーマンマン」

作：さくらともこ・絵：中村景児

出版社：岩崎書店

おもしろい本の見つけ方

年齢ごとに、「おもしろい」の内容が変化します。言葉を自由に話せるようになると、しりとりやなぞなぞが楽しめるので、言葉をテーマにした絵本はおすすめです。この年齢はストーリー性のあるお話も楽しむことができ、昔話や冒険など選択の幅が広がります。お話の主人公になって、笑ったり泣いたりすることがあります。子どもの反応を見ると、おもしろい本が分かります。

季節を楽しむ

活発に動けるようになると、外遊びも楽しくなります。季節をテーマにした本もおすすめ。冬・雪・ソリあそびなど、実体験もできるので楽しく読めます。

冬のおすすめ本

- ふゆじたくのおみせ (ふくざわゆみこ)
- きょうはぴったりのひ (ジャン・ファーンリー)
- はじめてのふゆ (ロブ・ルイス)
- そりあそび (さとうわきこ)
- おかしなゆき ふしぎなこおり (片平孝)
- 14ひきのさむいふゆ (いわむらかずお)

